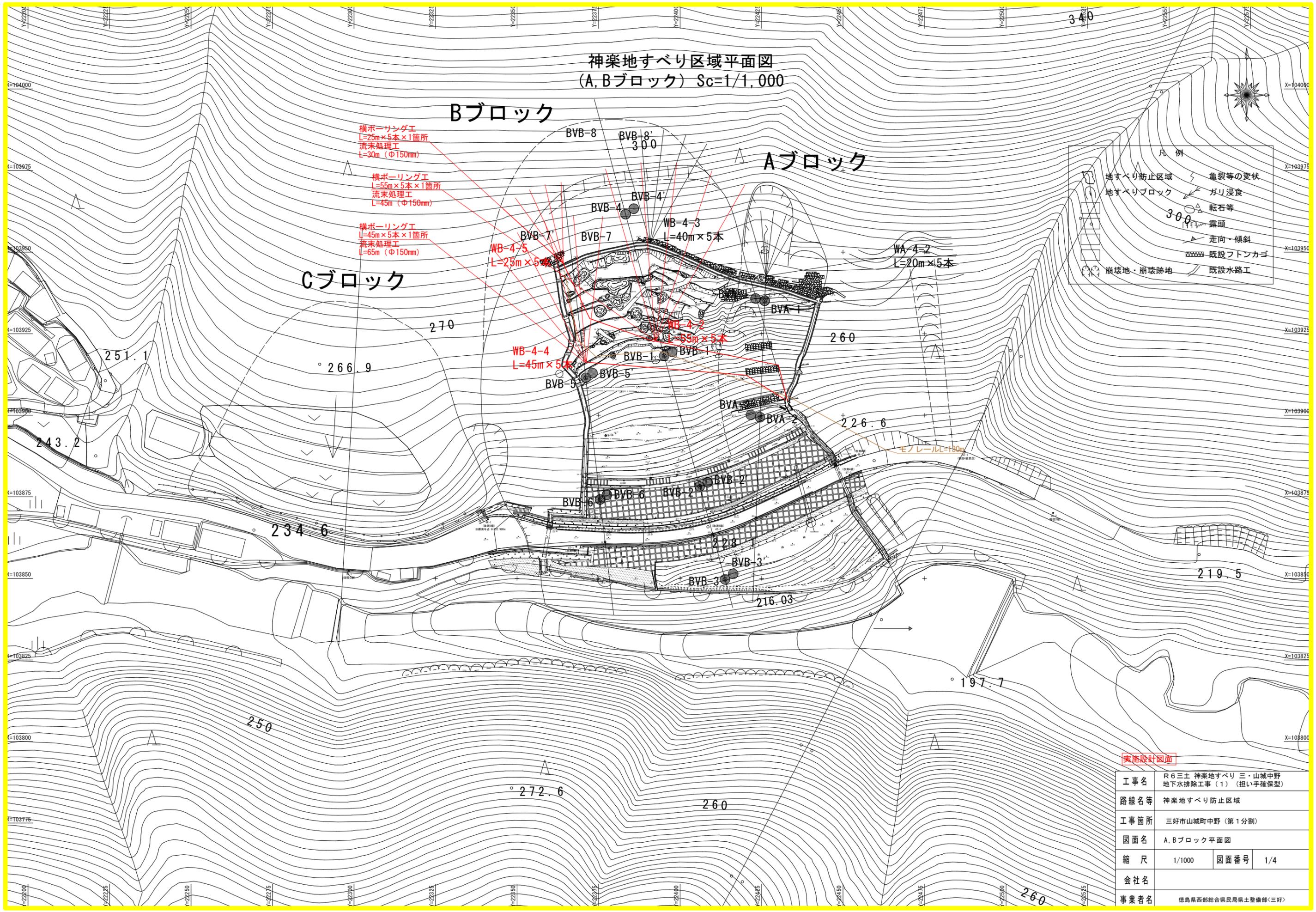


神楽地すべり区域平面図
(A, Bブロック) Sc=1/1,000

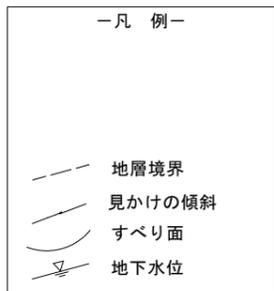


実施設計図面

工事名	R6三土 神楽地すべり 三・山城中野 地下水排除工事(1) (担い手確保型)		
路線名等	神楽地すべり防止区域		
工事箇所	三好市山城町中野 (第1分割)		
図面名	A, Bブロック平面図		
縮尺	1/1000	図面番号	1/4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局農土整備部<三好>		

地すべり地質の区分 (標準観察による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、雑混じりローム、雑混じり粘土、および硬質粘土・擾乱粘土などの褐色部、色調は褐色を主色調とする。旧期の崩積土はDt2、岩盤中における粘土状の擾乱部はDt1、細片～破片状の擾乱部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W1	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩系系統の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残存し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW1'で表示する。
W2	風化破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩系系統の細片～破片状コア(中・古生層)、あるいはやや締まった棒状コア(第三紀層)として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock(亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW2'で表示する。
W3	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩系系統の円板片～塊状コア(中・古生層)、あるいはよく締まった棒状コア(第三紀層)として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW3'で表示する。
Rf	基盤岩	棒状(完全コア) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状(完全コア)として採取され、全般的に硬質なもの。



Bブロック主測線 S=1:250

神楽地すべり
対策工断面図(Bブロック主測線)

Sc=1/500

地下水計観測
BVB-8'
L=23.00m

孔内傾斜計観測
BVB-8(L=32.00m)
GH=301.50m

孔内傾斜計観測
BVB-4(L=39.00m)
GH=284.66m

横ボーリング工WB-4-3
L=35m×5本×1箇所

地下水計観測
BVB-4'
L=26.00m

横ボーリング工WB-4-2
L=55m×5本×1箇所

孔内傾斜計観測
BVB-1(L=33.00m)
GH=259.23m

地下水計観測
BVB-1'
L=18.50m

GL-23.00m
すべり面確認

GL-22.00m
すべり面確認

GL-19.50m
すべり面確認

GL-19.00m
すべり面確認

GL-10.00m
すべり面確認

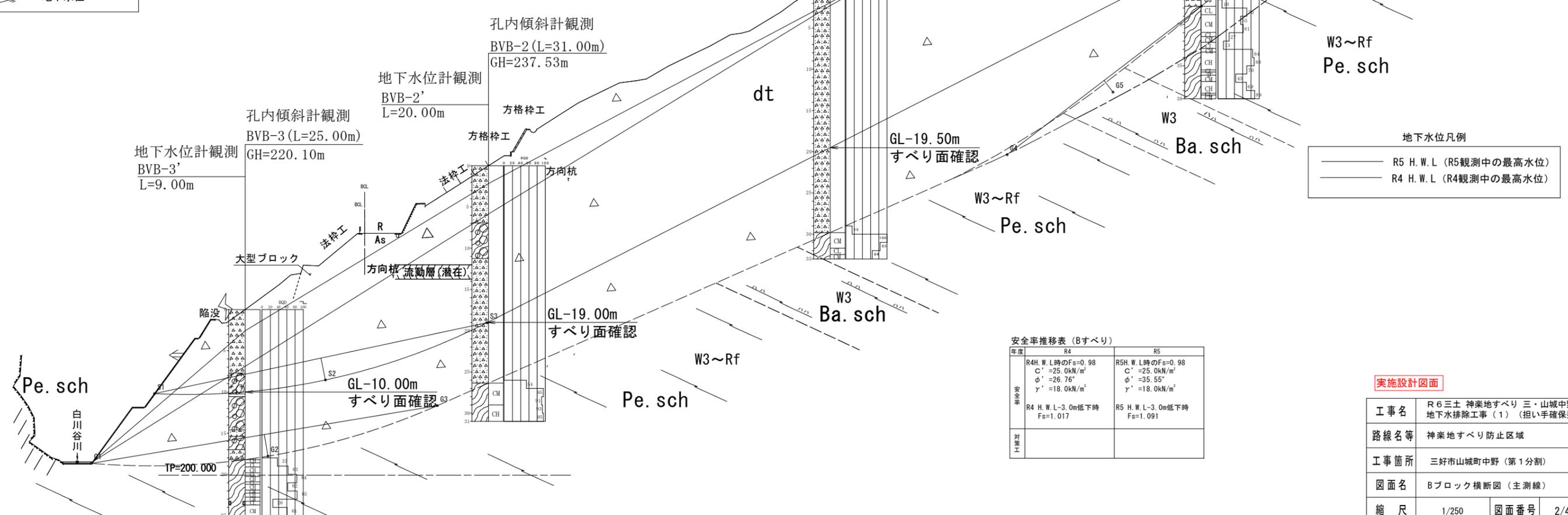


安全率推移表 (Bすべり)

年度	R4	R5
安全率	R4H.W.L時のFs=0.98 C' = 25.0kN/m ² φ' = 26.76° γ' = 18.0kN/m ³	R5H.W.L時のFs=0.98 C' = 25.0kN/m ² φ' = 35.55° γ' = 18.0kN/m ³
対策工	R4 H.W.L-3.0m低下時 Fs=1.017	R5 H.W.L-3.0m低下時 Fs=1.091

実施設計図面

工事名	R6三土 神楽地すべり 三・山城中野 地下水排除工事(1) (担い手確保型)
路線名等	神楽地すべり防止区域
工事箇所	三好市山城中野(第1分割)
図面名	Bブロック横断面図(主測線)
縮尺	1/250 図面番号 2/4
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<三好>



Bブロック副測線 S=1:250

神楽地すべり

対策工断面図(Bブロック副測線)
Sc=1/500

横ボーリング工WB-4-6
L=25m×5本×1箇所

孔内傾斜計観測
BVB-7(L=41.00m)
GH=284.30m

地下水位計観測
BVB-7'
L=22.00m

地すべり地質の区分 (標準地質による)			
区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
Dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、糺混じりローム、糺混じり粘土、および硬質粘土・擾乱粘土などの褐色部、色調は褐色を主色調とする。旧期の崩積土はDt2、岩盤中における粘土状の擾乱部はDt1、細片～破片状の擾乱部はDr(Disturbed rock)で表示する。
W1	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩系系統の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残留し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW1'で表示する。
W2	風化 破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩系系統の細片～破片状コア(中・古生層)、あるいはやや締まった棒状コア(第三紀層)として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock(亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW2'で表示する。
W3	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩系系統の円板状～塊状コア(中・古生層)、あるいはよく締まった棒状コア(第三紀層)として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW3'で表示する。
Rf	基盤岩	棒状(完全コア) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状(完全コア)として採取され、全般的に硬質なもの。

横ボーリング工WB-4-5
L=45m×5本×1箇所

孔内傾斜計観測
BVB-5(L=45.00m)
GH=259.58m

地下水位計観測
BVB-5'
L=29.50m

流動層(潜在)

流動層(潜在)

GL-21.00m
すべり面確認

孔内傾斜計観測
BVB-6(L=35.00m)
GH=238.15m

地下水位計観測
BVB-6'
L=18.50m

流動層(準確定)

流動層(潜在)

流動層(潜在)

GL-19.50m
すべり面確認

流動層(潜在)

流動層(準確定)

流動層(準確定)

GL-17.00m
すべり面確認

流動層(準確定)

流動層(準確定)

流動層(準確定)

W3~Rf
Pe. sch

W3~Rf
Pe. sch

W3
Ba. sch

W3
Ba. sch

一凡例一

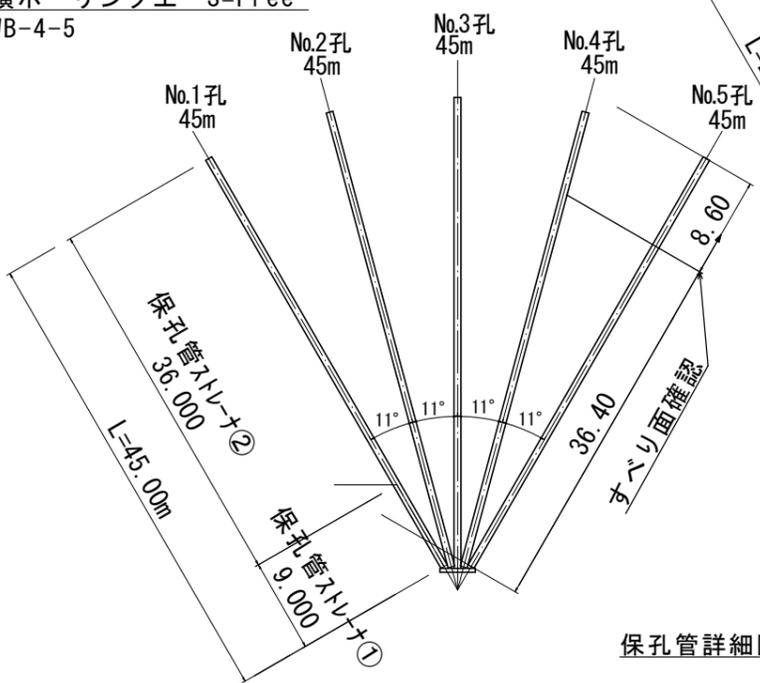
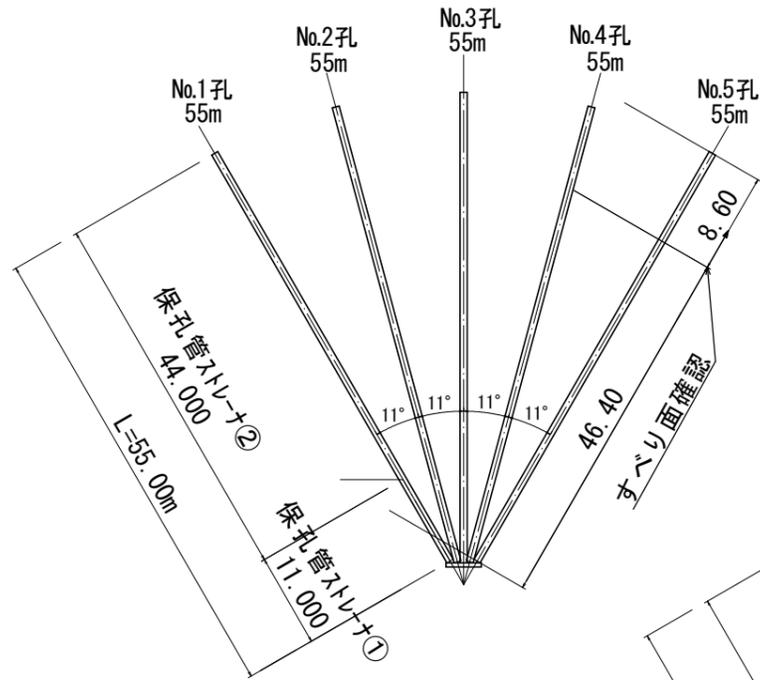
- 地層境界
- - - 見かけの傾斜
- ~~~~~ すべり面
- △ 地下水位

地下水位凡例

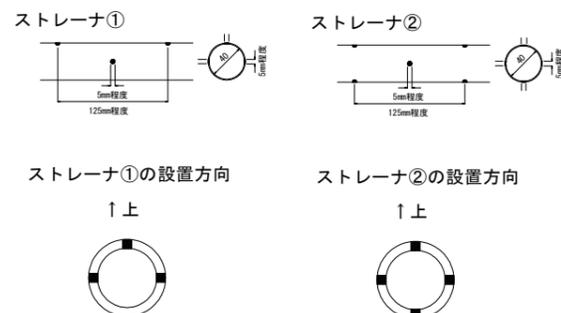
— R5 H. W. L (R5観測中の最高水位)

実施設計図面

工事名	R6三土 神楽地すべり 三・山城中野 地下水排除工事(1) (担い手確保型)		
路線名等	神楽地すべり防止区域		
工事箇所	三好市山城中野(第1分割)		
図面名	Bブロック横断面図(副測線)		
縮尺	1/250	図面番号	3/4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<三好>		

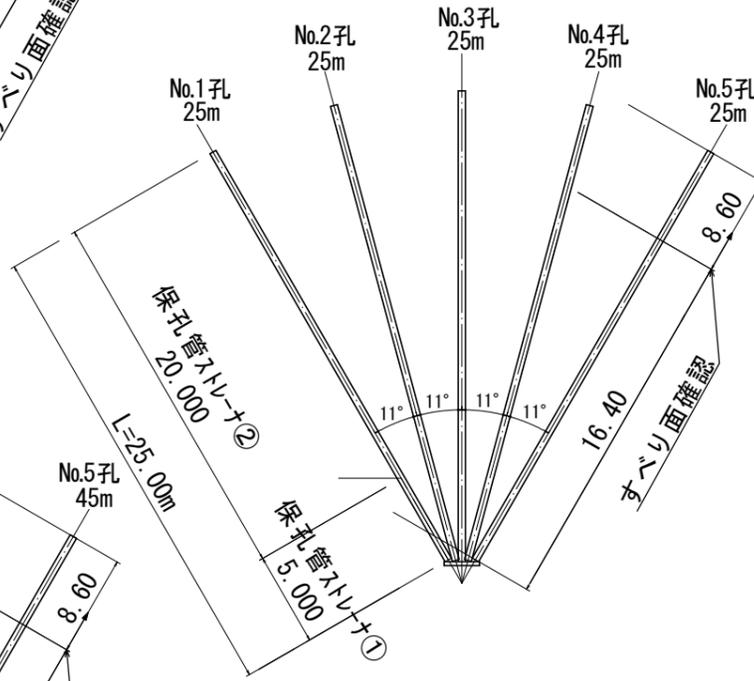
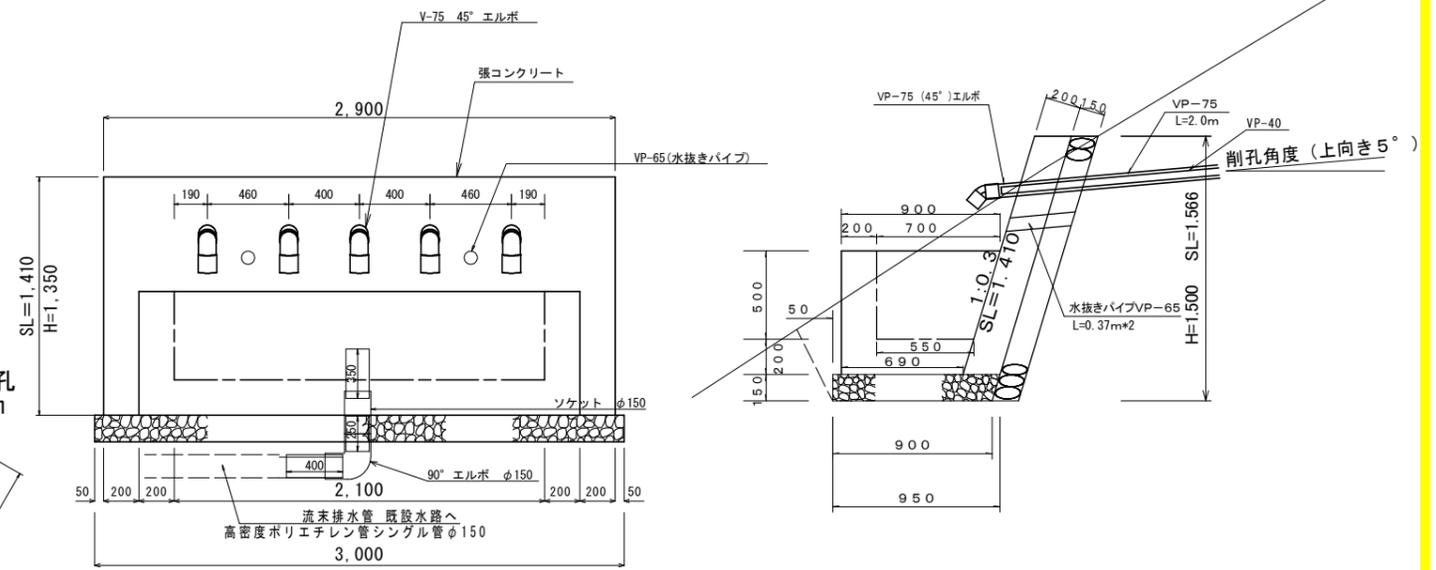


保孔管詳細図 S=1/4



構造図

孔口処理 S=1/20



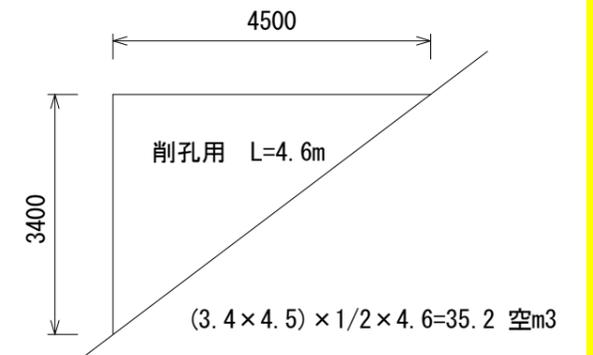
孔口処理 数量表

項目	数量算式	1.0箇所当り
コンクリート	$\sigma_{ok}=18N/mm^2$ $0.2 \times 1.41 \times 2.9 = 0.82$	0.82 m ³
同上型枠	$(1.41 \times 2.9) + (1.41 \times 0.2 \times 2) = 4.65$	4.65 m ²
同上裏石積	$(t=150)$ $1.566 \times 2.9 = 4.54$	4.54 m ²
集水樹コンクリート	$\sigma_{ok}=18N/mm^2$ $((0.69+0.90) \times 0.7 / (2 \times 2.5)) - ((0.55+0.70) \times 0.5 / (2 \times 2.1)) = 0.74$	0.74 m ³
同上型枠	$1.75 + 1.113 + 1.05 + 0.625 = 4.54$	4.54 m ²
	$2.5 \times 0.7 = 1.75$	
	$(0.69+0.90) \times 0.7 / (2 \times 2.5) = 1.113$	
	$2.1 \times 0.5 = 1.05$	
	$(0.55+0.70) \times 0.5 / (2 \times 2.1) = 0.625$	
基礎砕石	$(t=150)$ $3.0 \times (0.90+0.95) / 2 = 2.78$	2.78 m ²
床 岩	$1.26 \times 3.0 = 3.78$	3.78 m ³
埋 戻	$0.07 \times 3.0 = 0.21$	0.21 m ³
硬質強化ビニル	VP-65 $0.37 \times 2 = 0.74$	0.74 m
硬質強化ビニル	VP-75 $2.0 \times 5 = 10.0$	10.00 m
エルボ	(45° φ75)	5 個
エルボ	(90° φ150)	1 個
ソケット	φ150	1 個
硬質強化ビニル	VP-150 $0.35 + 0.25 = 0.40$	1.0 m
足場(単管)	$3.4 \times 4.5 \times 4.6 / 2 = 35.2$	35.2 空m ³
波形無孔管	φ150 $45.0 + 65.0 + 30.0 = 140.0m$	140.0m

高密度ポリエチレン管 (ダブル)

WB-4-2 L=45.0m
WB-4-5 L=65.0m
WB-4-6 L=30.0m

足場工 S=1/50



横ボーリング工 WB-4-2

	硬質土	軟岩	計
No.1孔	53.00m	2.00m	55.00m
No.2孔	53.00m	2.00m	55.00m
No.3孔	53.00m	2.00m	55.00m
No.4孔	53.00m	2.00m	55.00m
No.5孔	53.00m	2.00m	55.00m
計	265.00m	10.00m	275.00m

横ボーリング工 WB-4-5

	硬質土	計
No.1孔	45.00m	45.00m
No.2孔	45.00m	45.00m
No.3孔	45.00m	45.00m
No.4孔	45.00m	45.00m
No.5孔	45.00m	45.00m
計	225.00m	225.00m

横ボーリング工 WB-4-6

	硬質土	計
No.1孔	25.00m	25.00m
No.2孔	25.00m	25.00m
No.3孔	25.00m	25.00m
No.4孔	25.00m	25.00m
No.5孔	25.00m	25.00m
計	125.00m	125.00m

保孔管ストレーナ WB-4-2

	ストレーナ①	ストレーナ②	計
No.1孔	11.00m	44.00m	55.00m
No.2孔	11.00m	44.00m	55.00m
No.3孔	11.00m	44.00m	55.00m
No.4孔	11.00m	44.00m	55.00m
No.5孔	11.00m	44.00m	55.00m
計	55.00m	220.00m	275.00m

保孔管ストレーナ WB-4-5

	ストレーナ①	ストレーナ②	計
No.1孔	9.00m	36.00m	45.00m
No.2孔	9.00m	36.00m	45.00m
No.3孔	9.00m	36.00m	45.00m
No.4孔	9.00m	36.00m	45.00m
No.5孔	9.00m	36.00m	45.00m
計	45.00m	180.00m	225.00m

保孔管ストレーナ WB-4-6

	ストレーナ①	ストレーナ②	計
No.1孔	5.00m	20.00m	25.00m
No.2孔	5.00m	20.00m	25.00m
No.3孔	5.00m	20.00m	25.00m
No.4孔	5.00m	20.00m	25.00m
No.5孔	5.00m	20.00m	25.00m
計	25.00m	100.00m	125.00m

実施設計図面

工事名	R6三土 神楽地すべり 三・山城中野 地下水排除工事(1) (担い手確保型)		
路線名等	神楽地すべり防止区域		
工事箇所	三好市山城中野(第1分割)		
図面名	構造図		
縮尺	図示	図面番号	4/4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局農土整備部<三好>		